授業科目名・形態	公衆衛生看護活動論Ⅳ（学校保健）　講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	金平 信子・川村泰子	実務経験の有無	有	開講期	4 年前期
科目ナンバリング	N6-4022pht				

【授業の主題】

学校保健の制度と仕組みと児童生徒の健康課題を知り、その上で「生きる力」を育むための養護教諭の役割を学ぶ。児童生徒の健康課題の把握と支援方法、チームとしての支援の展開などについて基本的な知識を得る。

【到達目標】

1. 学校保健の目的と制度の枠組みを説明できる
2. 養護教諭の役割と専門性を理解できる
3. 児童生徒の発達段階に応じた健康課題と支援方法を理解できる
4. 学校保健活動の実際を理解できる

【授業計画・内容】

第１回：学校保健の基本(金平)　教科書 p.273-281 動向：p.345-346
第２回：学校保健・安全の制度としくみ、学校保健活動の展開(金平)　教科書：p.282-289, p 312-317 動向：p.346-349
第３回：学校保健における健康課題と支援(金平)　教科書：p.291-301，動向：p.349-355
第４回：様々な支援を必要とする子どもへの対策と支援、　養護教諭の活動と実際　(金平)
教科書：p.302-311，　p 318-327 動向：p.349-355
第５回：特別支援学校での学校保健活動(比内支援学校養護教諭)
第 6-7 回：学校保健活動の実際（大館市内小中学校の見学）
第８回：見学の学びの共有(金平)[AL：プレゼンテーションとディスカッション]

【授業実施方法】

講義、学校保健見学、プレゼンテーションを行う。

【事前・事後学習】下記を総計し 30 時間程度

事前学修
学修ノート：教科書等の該当部分を熟読し、記述内容の要約を書く。分からない用語や文章を書き出しする。
見学前学修：見学に行く学校の学校だよりを読み、規模や学校全体の活動、そのほか指示された事項を各自で事前学修し、有意義な見学となるよう準備をして臨む。

事後学修
その日の学修内容のまとめ、予習時の不明点など新たな学びについて、自分の理解に沿って学修ノートに記述する。
学校保健見学後は、体験と学修事項ほか発展的な学びを関連付け、自分の言葉で体験と養護教諭の役割、児童生徒の健康づくりに関する考えをまとめプレゼンテーションに備える。

【主な関連する科目】

公衆衛生看護分野の各科目

【教科書等】

岸恵美子ほか編：最新保健学講座３　公衆衛生看護活動論①，メヂカルフレンド社、2020.
厚生統計協会編「国民衛生の動向 2025/2026 2025.（3 年時に購入のもの）

【成績評価方法】

定期試験：60%，見学レポート 10%，授業レポート 10%，プレゼンテーション 10%，授業態度：10%，

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

長年の養護教諭経験の後、養護教諭の指導的立場で現場の支援を行う講師や、行政保健師として養護教諭と協同の経験がある教員が担当します。また、大館市内の小中学校で、学校保健の現場を養護教諭から学びます。

【学生へのメッセージ】

これまで学んできた関連教科を復習して授業に臨みましょう。公衆衛生看護活動の１つとして位置づけられている学校保健・学校看護との連携を学びましょう。